

記載例

様式第2号の3

災害を目撃した者がいない等、現認書を得られない場合

災害状況報告書（現認書にかわるもの）

被災職員	氏名	秋田太郎
	所属部局・課・係	〇〇部〇〇課
	災害の日時	令和7年4月10日（木） 午前7時50分
	災害の場所	〇〇市〇〇町〇〇交差点

災害状況

報告者と被災職員の関係を記入する。

私は〇〇課△△班の班長です。

被災当日、午前8時15分頃、被災職員から事故の報告の電話がありました。私が本人から電話で聞いた事故の状況は次のとおりです。

通勤のため自動車を運転中、〇〇交差点で赤信号のため停車していたところ、後続の自動車に追突され、首に痛みを覚えた。

警察に連絡したので、加害者とともに現場検証を受けてから、病院に寄って行きます。

私は、加害者の連絡先などを確認しておくことや、病院での診察が終わったら連絡するよう伝え、無理をしないようにと言いました。

なお、事故の原因は、加害者のわき見運転であるとのことでした。

本人からの聴き取り内容を詳細に記載する。

上記のとおり相違ありません。

令和7年4月11日

原則として、被災職員から報告を直接受けた上司等が作成する。

住所 〇〇市三丁目10番
現認者 所属、職 〇〇部〇〇課 △△班長
氏名 鈴木夏子

(注) この報告書は、災害の現認者がおらず現認書を作成してもらえない場合に、災害状況の報告をした相手（上司等）から作成してもらうこと。